

活力みなぎる緑の郷土

# 議会だより

なかしべつ



9月5日 ゆめの森公園

## 主な内容

行政報告・教育報告	P 3
一般質問	P 4 ~ 5
委員会等構成	P 6 ~ 7
議会議決	P 8
行事関係	P 9
特集	P 10 ~ 11

平成16年10月

No. 63

平成16年

# 9月定例会

平成16年9月定例会は、9月17日開催されました。今回は新出町長最後の定例会となり議案も少なく1日の開会となりました。一般行政報告、教育行政報告の他、一般質問には4名の議員が4項目について町長・教育長の考えを質しました。

一般会計補正予算、寒冷地手当支給に関する条例改正のあと、平成15年度各会計決算認定のため、決算審査特別委員会を設置しました。

この他、意見案2件と「新出實氏に対する感謝の決議」を採択しました。



新出町長最後の定例会（退任のあいさつ）

# 一般行政報告

## 要望等について

根室地方総合開発期成会や北海道空港協会などの各種機関として、道並びに関係省庁・国会議員に対し、酪農経営活性化及び環境保全対策の推進、空港整備事業に係る財源の確保など合計8件の要請を行いました。

## 寄贈金品について

町に対し、現金で6件67万円、物品で1件、また、社会福祉協議会に対しても、現金で30件百87万4千3百15円の善意が寄せられました。

## 中標津町・羅臼町 合併協議会の 協議状況について

第7回（6月24日）議会議員の定数・任期の審議経過。  
第8回（7月13日）地方税の不均一課税の取り扱い、条例、規則等の取り扱い決定。  
第9回（7月21日）議会議

員、農業委員の定数・任期の決定。支所の設置の決定。

第10回（8月9日）行政サービスを取り扱い10件の決定。新市建設計画案の決定。

第11回（9月14日）中標津町、羅臼町を町名・字名に冠することを決定。町立病院の取り扱いを決定。新市名を「東知床市」とすることに決定。  
なお、詳細については「合併協議会だより」でご案内のとおりです。

## 中標津空港の 利用状況について

15年度の東京便で9万2千4百77人、札幌便で11万3千



ポケモン機と知床連峰

6百62人で前年に比べ約5%の減少。チャーター便ではハワイ、韓国、石垣・宮古行きを実施。8百42人の利用がありました。なお、16年は8月末で東京・札幌便合わせ、対前年比4%増。

## 時間外勤務手当等 請求控訴事件について

先に北海道教職員組合より北海道及び各市町村に対し時間外勤務手当等の支払いを求める訴えがありました。札幌

地裁で北海道及び関係市町村の勝訴となりました。なお北海道教職員組合は控訴していません。

## ごみ焼却施設建設工事 請負契約の締結について

根室北部廃棄物処理広域連合のごみ焼却施設建設工事は8月20日広域連合の臨時議会で契約の締結を議決しました。契約金は41億3千4百90万円で、工期は16年8月21日から19年2月28日まで。

# 教育行政報告

## 各種大会 出場結果について

北海道中学校校体育大会では中標津中の野球部・女子バレーボール部が3位のほか柔道・水泳・ソフトテニス・陸上・卓球の種目で健闘しました。さらに、中標津農高の生徒が北海道高校陸上競技大会に、俣落中の生徒が北海道卓球選手権大会に、剣道スポーツ少年団が「赤胴」少年剣道

## 児童生徒 交流事業について

第12回友好自治体男子交流会が川崎市で開催され、中学生12名が参加、友好親善を深めました。  
「川崎市ふれあいサマーキャ

## 中標津農業高校生の 海外派遣について

農業高校の生産技術科・食品ビジネス科の特性を生かすため、ドイツでの酪農研修、食品加工研修を実施。7月21日から30日まで生徒が7名参加しました。農家視察では、乳牛・肉牛の飼養と養鶏の経営を、チーズ工場視察では、チーズの歴史や製造方法等を学んできました。参加した生徒から大変有意義な研修でしたとの感想が述べられています。



川崎市ふれあいサマーキャンプ  
(アイスクリーム作り)



あなたにかわって町政の考え方を質す

4名の議員が町理事者に質問しました。  
その内容を要約し掲載します。

# 一般質問

## 羅臼町との合併に関する住民投票の実施

石井初義 議員

### 住民投票も一つの手段と考える

町 長

#### 質問

中標津町と羅臼町との合併については合併協議会でも大要が決定され、町議会の合併問題特別委員会でも議論されてきています。

一方、町民の方は合併協議会だよりの発行や住民説明会も開催されてはいるが、合併特例債の期限や使途、相手方となる羅臼町の財政状況などについて、

もっと知りたいとの声も聞かされている。

合併に関する情報をもっと詳しく提供し、町の経済に大きな影響を与えることから標津町のように住民投票を実施して欲しいとの声が多数聞かれる。そのような声を受け、マスコミのアンケートに対し、十八名の議員が住民投票を実施すべきと答えている。そこで更なる情報の提

供、住民投票の実施につき、新出町長任期中

では無理であると考えるので次期町長に引き継ぎ事項として託す考えはないか。

#### 町長答弁

住民投票も合併の是非を問う一つの手段とは考える。

このような一般質問があった旨は次期町長に伝えたい。

## 産業連関調査の必要性と合併資料

松村康弘 議員

### 衆知を集めて成果を期待

町 長

#### 質問

この度、発行された新市の建設計画の中間報告で、二〇〇五年から二〇二一年までの財政推計において、地方税は次第に減少していく傾向が読み取れる。

この報告で建議されている施策が実行された後の成果がシミュレーションされてはいないと理解する。以前にも質問したが、産業連関調査などの経済に関する

る調査がなされず、単にこの度の合併によって可能となる経済効果を希望的観測としてしまっただけではなからうか。

この際、これらの調査を実施して、的確な経済効果を有する最終報告をもって合併協議に臨むべきと考える。

#### 町長答弁

以前にも答弁したが、これらの調査を町単独で行うことは大変難しいと判断している。

標津町では釧路公立大学の小

磯教授に依頼して観光消費による経済波及効果について調査し、例えば日帰り観光客の二割が宿泊すると雇用効果が1.5倍になる等の内容が公表されています。

この場合において本町の観光消費にかかる経済効果を表す指標として根室支庁の産業連関表を使つての推計は可能であるが（観光客の入り込み数等）については、大きく数値が変わるので、次期町長に申し送るので、衆知を集めて、成果を期待したい。



体験観光、お勤めの各種パンフレット



合併協議会風景

## 義務教育費国庫負担制度の堅持を

佐藤武志 議員

### 現行制度の堅持に努力

教育 長

#### 質問

教育の機会均等と義務教育無償の原則は憲法で定められており、国民に対し妥当な規模と内容を保障することは国の責任であります。このことから全ての子どもたちに一定水準の教育機会を保障するため義務教育費国庫負担制度が設けられています。しかし、8月全国町村会を含む地方六団体は、義務教育費国庫

負担金中学校分（給与費）8千5百4億円を削減対象とすることに決定。この負担金が廃止となると北海道は税源移譲額が廃止額を下回り、学校によっては必要な教職員配置ができない、40人学級を維持できない状況も生じかねない。負担金を削減の対象とされたことへの見解及び今後の対応について明らかにしたい。

## 福祉施策の現状は

柴野忠征 議員

### 福祉対策の概要

町 長



販わうパークゴルフ場

#### 質問

以前に敬老年金、福祉灯油、障害者見舞金などの支給があったが、今では全く姿を消し、福祉バスの運行廃止、高齢者の健全なスポーツのパークゴルフ場の有料化。今年度は通院、買い物に利用の循環バスの無料バスの廃止。現在中標津町の福祉対応施策は何か、項目と内容の答弁を求めます。

#### 教育長答弁

この負担金が廃止された場合、地方の裁量で特色ある教育ができるとの考え方の反面、それ以上に教育費を削る自治体が出たリ、教育行政の地域格差が広がることへの懸念があります。現在の制度改革の議論は、財政論優先で教育論が欠けたもので、本年5月の全国町村教育長会総会で、この制度の堅持を



牛の写生

決議しました。この制度は、地域の実態に即した義務教育推進・運営全般について、市町村の意向を十分尊重されるべきで、全国どこでも良質の義務教育が受けられるよう必要な財源を国の責任で確保するという根幹は堅持されるべきと考えます。今後、情勢を見極めつつ管内教育長会等関係団体と共に現行制度が堅持されるよう努力致します。

#### 町長答弁

福祉施策実施状況の主要項目を述べたいと思います。

社会福祉では、社会福祉協議会への補助、低所得者への生活福祉資金、ウタリ住宅改良資金の貸付、総合福祉センターの管理運営。障害者施策では知的障害者のために地域共同作業所「森の家」運営費補助、腎臓機能障害・特定疾患など患者通院交通費補助、支援費制度による知的・身体障害者居宅生活施設訓練等の支援費や重度身体障害者への日常生活用具給付等の扶助。

高齢者施策では介護保険事業の実施、託老事業補助、町内会への敬老会補助。虚弱や独居高齢者への緊急通報システムの設置、生きがいデイサービス事業・老人クラブ、シルバー人材センター運営費補助。母子・児童育成施策では、町立保育園とへき地保育所及び法人保育園での保育事業の実施。児童の放課後対策では、6児童館管理運営、児童館及び総合福祉センターにおいての子育て支援。以上、福祉施策の概要であります。

# 中標津町議会議員 委員会等所属一覧表



中標津町議会議長  
萬 和 男

この度、中標津町議会議長に選任されました。議長としての重責を担い町民の付託に応えるよう最大限の努力をしてまいります。

行政と議会は『車の両輪』であると言われております。首長には執行権・予算権があり、議会には議決権・調査権があります。相互にその権限を均衡させ、適正で効率的な行政運営の確立を目指すのが正しい議会のあり方と思います。

その中で、議会及び議会議員の責任は、次の二点にあると考えています。

一点目は、議会が議決した政策を執行機関がすべて適法・適正・効率的に、しかも公平・公正に行っているかを検証・監視することです。

二点目は、議会議員は「選良」と呼ばれており、住民の意志や価値観が多様化する中、的確な政策判断が出来なければなりません。そのため、議員自らが積極的に日常活動を行い、また研修活動を充実させ、向上心をもち、民意を施策に反映させることです。

以上の点をふまえ、私は常に、議会改革を推進し、町民の福祉向上を第一に考え、議長としての責務を果たしてまいります。



中標津町議会副議長  
殿 守 富

議員任期

平成16年9月3日から  
平成20年9月2日

総務常任委員会



委員	副委員	委員
長	長	長
吉田	高田	吉田
辰男	重樹	辰男
佐藤	大橋	佐藤
武志	明美	武志
熊倉	重樹	熊倉

文教厚生常任委員会



委員	副委員	委員
長	長	長
松村	赤波	松村
康弘	江利	康弘
柴野	神尾	柴野
辰五	辰五	辰五
飯島	佐征	飯島
平川	武雄	平川



委員会等構成



委員 岡部 實  
副委員 石井 初義  
委員 後藤 一男  
" " " 吉田 貫一  
" " " 笹谷 芳夫  
杉本 剛



産業常任委員会

委員 安達 勉  
副委員 藤渡 久雄  
委員 渡邊 將史  
" " " 高橋 一爾  
" " " 児玉 清光  
殿守 富



建設常任委員会

議會運営委員会  
委員 児玉 清光  
副委員 松村 康弘  
委員 高田 重樹  
" " " 赤波 利夫  
" " " 岡部 實  
" " " 安達 久雄  
" " " 藤渡 久雄

決算審査特別委員会  
委員 飯島 佐市  
副委員 石井 初義  
委員 神尾 辰五  
" " " 佐藤 武志  
" " " 渡邊 將史  
" " " 大橋 明美  
" " " 藤渡 久雄  
" " " 杉本 剛  
殿守 富

合併問題特別委員会

委員 笹谷 芳夫  
副委員 安達 勉  
(委員は議長を除く全議員)

議會広報特別委員会  
委員 杉本 剛  
副委員 佐藤 武志  
委員 神尾 辰五  
" " " 藤渡 久雄  
" " " 殿守 富

委員 石井 初義  
" " " 吉田 辰男  
" " " 殿守 富

中標津町監査委員

高橋 一爾

標準依橋大規模草地一部事務組合議会議員

石井 初義  
岡部 實  
殿守 富  
萬和 男

中標津町地域森林・林業・林産業活性化議員連盟

会長 杉本 剛  
副会長 岡部 實  
幹事 石井 初義  
" " " 高田 重樹  
事務局 吉田 辰男

中標津町議会議員  
会長 杉本 剛  
副会長 笹谷 芳夫  
幹事 神尾 辰五  
" " " 柴野 忠征  
" " " 熊倉 重樹  
" " " 飯島 佐市  
監査 高橋 一爾

根室北部廃棄物処理広域連合議会議員

赤波 利夫  
松村 康弘  
殿守 富  
萬和 男

中標津町外2町葬斎組合議会議員

佐藤 武志  
柴野 忠征  
吉田 貫一  
渡邊 將史  
萬和 男

根室北部消防事務組合議会議員

熊倉 重樹  
高田 重樹  
吉田 辰男  
殿守 富  
萬和 男

根室北部衛生組合議会議員

飯島 佐市  
平川 武雄  
殿守 富  
萬和 男

# 第3回臨時会

# 9月定例会

## 臨時会

中標津町議会議員の任期満了に伴う一般選挙後の初議会が平成16年9月6日開催されました。

初議会で議決された項目は次のとおりです。

### 補正予算

下水道事業特別会計補正予算（専決処分の承認）補正額9千3百40万円を追加し、予算総額15億4千7百47万1千円となりました。

### 議長・副議長及び常任委員会等議会議成

- ・ 議長の選挙
- ・ 副議長の選挙
- ・ 標準依橋大規模草地一部事務組合議会議員の選挙
- ・ 根室北部衛生組合議会議員の選挙
- ・ 根室北部消防事務組合議会議員の選挙
- ・ 中標津町外2町葬斎組合議会議員の選挙
- ・ 根室北部廃棄物処理広域連合議会議員の選挙

- ・ 常任委員会委員及び正副委員長の選任
- ・ 議会運営委員会委員及び正副委員長の選任

その他、議会広報特別委員会、合併問題特別委員会の設置など、議会における委員会等の構成を決めました。これら委員会構成等の詳細については、本誌6ページに掲載しています。

また、監査委員の選任についても同意しています。

## 9月定例会

平成16年9月17日に開催され、議決された主なものを掲載いたします。

### 補正予算

- ・ 一般会計補正予算は、6千97万円を追加し、予算総額百33億5千8百66万4千円となりました。
- ・ 資源リサイクル畜産環境整備事業負担金5千3百48万円の増額。
- ・ バイオマス活用フロントエリア推進事業補助金6百30万6千円の増額。

### 条例改正

寒冷地手当支給に関する条例及び企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部改正

今回の改正は、職員に支給されている寒冷地手当について、国の人事院勧告に基づき、支給基準日を改正しました。

### 決算審査特別委員会の設置

平成15年度各会計決算の認定は、決算審査特別委員会を設置し、審査することになりました。

### 意見書

- ・ 将来にわたり安心と信頼できる年金制度の確立を求める意見書  
提出者 佐藤武志議員
- ・ 道路整備に関する意見書  
提出者 安達 勉議員

### 決議

- ・ 新出實氏に対する感謝の決議  
提出者 殿守 富議員

## 新出實氏に対する感謝の決議

新出實氏は、平成4年9月30日中標津町長に就任以来3期12年間に亘り、町政を執行され、町民生活の安定向上のために尽くされた業績は誠に大きなものがあります。

この間にあつて特に、総合文化会館しるべつとの開設、町立中標津病院の移転新築、中標津農業高等学校校舎増改築、総合福祉センタープラッツの開設、道立中標津高等養護学校開設誘致、道立ゆめの森公園開設誘致など、数多くの施策を精力的に推進され、本町発展のために尽くされたその努力に対し深く敬意を表するものであります。

今般、中標津町長を退任されるにあたり、中標津町議会はその功績をたたえ感謝の意を表するため、ここに決議するものであります。

平成16年9月17日

中標津町議会



## 行事関係

### 平成16年7月から9月までの行事関係

期 日	行 事 案 内	出席者等	期 日	行 事 案 内	出席者等
7月6日	道東4支庁管内町村議会議員研修会 (弟子屈町)	全議員欠3人	20日	根室北部廃棄物処理広域連合議会臨時会	議長他3名
7~8日	議員研修会(大樹町・鹿追町)	全議員欠4人	22日	平成16年度中標津消防団総合訓練	副議長
12日	議会広報特別委員会	委員	9月2日	小泉内閣総理大臣北方領土視察来管時における対話集会	副議長
13日	合併協議会 新市名称候補選定小委員会	議長他2名	6日	中標津町議会第3回臨時会	全議員
13日	合併協議会 議会議員等の定数及び任期に関する小委員会	副議長他2名	13日	総務常任委員会	委員
13日	合併協議会(第8回)	議長他5名	13日	根室支庁管内町村議会議長会臨時総会	議長・副議長
16日	文教厚生常任委員会	委員	14日	合併協議会(第11回)	議長他5名
21日	根室北部衛生組合臨時会	議長他3名	15日	議会運営委員会	委員
21日	合併協議会(第9回)	議長他5名	16日	参議院沖縄及び北方問題に関する特別委員会現地実情調査来管時意見交換会	議長
22日	議会広報特別委員会	委員	17日	中標津町議会9月定例会	全議員
22~23日	根室地方総合開発期成会中央要望 (北海道開発局・中央省庁など)	議長	21日	議会広報特別委員会	委員
23日	建設常任委員会	委員欠1人	22日	合併問題特別委員会	委員
27日	産業常任委員会	委員	27日	議会広報特別委員会	委員
8月3日	全道林活議連連絡会総会	副議長	28日	合併問題特別委員会小委員会	委員欠1人
9日	合併協議会(第10回)	議長他5名			
15日	中標津町殉公者之碑参拝・中標津町殉公者追悼式	議長他			

## 議員の年賀状について



今年最後の議会だよりになります。  
公職選挙法の規定により、政治家が選挙区内の有権者に年賀状を出すことができないことになっています。  
この点ぜひご理解をお願いいたします。

シリーズ

# 中標津町の歩み

## 中標津村の誕生



分村から昭和29年まで使用された  
パラック建ての庁舎（東4北1）

一九四六年（昭和21年）1月23日、標津村議会に「中標津分村二關スル建議案」が提出され、全会一致で採択された。昭和9年に建議してから11年余、難産を重ね中標津村の誕生が決定した。

その後、分村による財産譲渡、分村事務関係が進み昭和21年7月1日をもって中標津村が誕生する。当時の「町村制」の規定によって、村長臨時代理者は分村実行委員会の選挙によって根室支庁総務課長の坂井同が選ばれ、同年9月13日の第1回村議会で初代村長に就任した。

村役場庁舎は馬鈴薯畑の中にあつた旧海軍飛行場建設事務所（現東5条北1丁目）を改造したもので会議室もなく、農業会会議室を借りて議場としていた。初議会では議長に佐藤甚平、副議長に亀子卓を選任している。また役場の職員数は19名となっている。

昭和22年の当初予算額は2百46万8千3百84円と定められた。

その後、中標津村は坂井村長辞職に伴って村長選挙となり助役の横田俊夫、根室町農業会専務理事の畑三郎で争われ、百60票差で横田俊夫が民選初の村長となった。

村長選挙をめぐって「村長不信任」「議員総辞職」で議会が紛糾したが、昭和23年6月29日の村議会で総辞職し8月20日村議会議員選挙が執行され、新しい顔ぶれで村発展の再スタートがきられた。

この時の人口は1万三千3百70人となっている。

町立病院の前身ともいえる中標津厚生病院  
昭和19年、大通り北1丁目に開院した、内科・小児科・  
外科・産婦人科・耳鼻科の五科目を診療



分村2年目の職員（昭和22年1月）



初代村長 坂井 同

## 中 標 津 町 の 誕 生

38才で村長の座についた横田は、就任当初、選挙のシコリもあつたが、村議会議員の総辞職による選挙もあつてようやく平常化となり、積極的な村づくりを進めた。

当時、新制中学校の校舎の整備にあわせ、新制高校設置の要望も強く、住民運動の盛り上がりとなつていた。この年村長選挙に立候補した横田は高校設置を公約に掲げその実現に全力投入した。

高校設置には6百万円の建設資金の難題もあつたが、道の許可もおりて昭和23年8月3日には「村立中標津高校」で開校し、翌24年に道立移管となつている。

23年頃より町政施行が村民世論となり、昭和24年11月の村議会で議決し、中標津村が「町となすことについての許可申請」を当時の田中敏文知

事に提出している。

北海道は「町としての要件に関する条例」の規定により調査の結果、「中標津村は根室原野の中央部に位し、人口1万3百人を有し、酪農、商工業も発展しており、道条例に定める諸要件を具備している」よつて昭和25年1月1日より町にするとの議案を12月26日の道議会に上程し原案可決をみた。

25年1月町制施行記念式典で横田町長は「町制施行へと一路邁進してきたが、実現したのは住民の燃ゆるが如き愛郷心と、地の利、時の利、即ち自然の推移であります」と述べ喜びをわかちあつている。記念行事として町章・町歌・中標津小唄が募集され披露されている。

町制施行を契機に躍動するなか、10月には中標津郵便取扱所が普通郵便局になり、標茶保健所より分離して中標津保健所が開設されている。上水道工事にも着手し翌年11月に市街地で送水を開始したほか、庶民住宅（現在の公住）も建設されてきた。



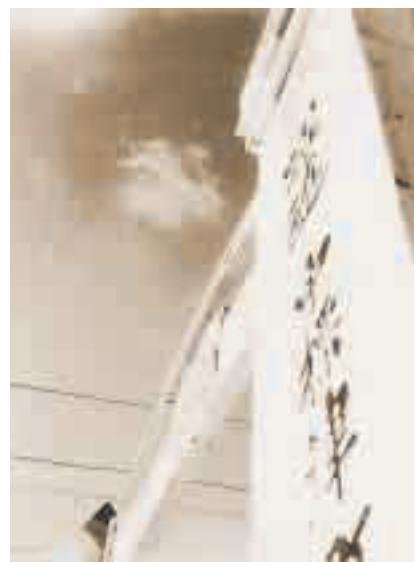
町制施行当時の市街地（昭和25年）



初代町長 横田俊夫



畑の中に建てられた中標津高校校舎（昭和23年頃）



町制施行を祝うアーチ「躍進」という二文字に、分村わずか3年余にしての町制施行の喜びが伝わる（昭和25年）



# 編集を

# 終えて



秋も深まり、朝夕は肌寒く暖房のほしい季節となってきました。

さて、今年の夏はこの地方も猛暑が続き、台風も多く発生して日本列島にも被害が出ています。

本町は7月の参議院議員選挙、そして8月には町長、町議会議員の同日選挙があり、中標津町の夏の熱い選挙戦となりました。新出實町長は、3期12年で勇退を表明され、町長選挙は新人同志の戦いとなり、前町議会議長の西澤雄一さんが当選を果たしています。

また、町議会議員選挙も25人の立候補者より新進気鋭の議員24人が町民の期待をうけて、これからの町づくりに取り組むこととなりました。

期待されていた投票率は前回より低く、選挙の関心は盛り上がり欠けた結果となりました。

選挙期間中はアテネオリンピックが開催され道産子選手も活躍していましたし、駒大苫小牧高校は北海道としては史上初の高校野球全国優勝をはたしています。

9月定例会では新出町長12年間の功績に対し議会として「感謝の決議」を行っています。

むすびに、改選後の議会構成で私たち5名が広報委員となりました。町民皆さんに親しまれ、読んでいただき、ご意見をもらえるような「議会だより」の発行に努力しますので、よろしくお願いいたします。



広報委員会の議会だより編集

議会だよりに対する  
ご意見をお寄せ下さい。

### 中標津町役場

TEL(01537)3-3111

FAX(01537)3-5333

議会事務局 内線502・503  
にご連絡を...

- ・ホームページは  
[http://www.aurens.or.jp/hp/nakasi\\_t/](http://www.aurens.or.jp/hp/nakasi_t/)
- ・メールは  
nakasi-t@arens.or.jp

発行 / 中標津町議会

編集 / 中標津町議会広報特別委員会

### 議会広報特別委員会

委員長	杉本 剛
副委員長	佐藤 武志
委員	神尾 辰五
"	藤渡 久雄
"	殿守 富

